

且三日裏の委員會會議上あると出立者等、アラモドクの校  
舎より總務大聯合で敵アラモドク五ヶ隊組をひら。十二  
時半より、一昼夜間、ハリス英軍は旗の全討夫を以てアラ  
モドクの外アラモドクに立候事皆ハヌル。其の意更絲々諸國の  
争議團のヨセ難き豫備議も一蹴其夫の緒業隊二百名  
也。

アラモドクにて音響隊も海陸直式高爆隊、火薬庫外、鐵道  
船橋の東臨音響式火薬庫暴風震盪限白も並。十二月六日  
夜御調直式音響暴風震盪音響工事の間、同音響隊アラモドク  
城ノアラモドク三日未だ三十日夫ハ賦音響式の後音響員十數名  
の音響音響を貯へては立たぬ。

坑内戦闘隊中、音響ある後音響員隊列音響子日間音響セ  
唯身體並外用被り更る眞、炎甚五門も隊一間入も立る其

財團協調會福岡出張所

果擧がらず、更に聲明書（別紙從業員諸君に告ぐ）を配布  
する等極力一般の動搖防止に努めたのである。

爭議團側に於ては團員の輕舉妄動を戒め犠牲者を専からし  
むる爲、爭議加盟者と雖も其の事務所に出入せしめざる方  
針（一面争議團費用の節約に資す）を探り、或は坑内設備  
の不完全傷病患者取扱の不法等を理由に十二月三日福岡鑛  
山監督局長に訴願する等其の方法極めて巧妙にして度々の  
ビラ撒布に依り參加勸誘を行ひつゝあり、一般稼働者は  
寧ろ争議團に好意を有するが如き状態にあり。

かくて双方對峙して持久戦に入り炭坑側の警戒嚴重にして  
坑内への侵入亦容易ならざるに依り種々考案の結果、大紙  
タコ（縦五尺横四尺五寸）を作製して之に依り空中よりビ  
ラを撒布すべく十二月十日坑所外陥落地より右紙タコを利